



文彩

第6号

【開催報告】

日韓学術フォーラム

「ことばと文学」

文学部フォーラム

「ことばと身体」

熊本県立大学文学部

2010.3.

◆◆◆◆◆ 文彩第6号 執筆者が薦めるこの一冊 ◆◆◆◆◆

有働 牧子 本学文学部 嘱託 (アメリカ文学)
ウィリアム・フォークナー著『響きと怒り』 講談社文芸文庫ほか
●人間に纏わる苦悩と美の起点としての「響き」と「怒り」。

大島 明秀 本学文学部 講師 (歴史学)
佐野洋子著『100万回生きたねこ』 講談社
●私達は白い猫に会うために100万回生まれてきた黒猫なのだ。

川平 敏文 本学文学部 准教授 (日本近世文学)
上田秋成『雨月物語』 角川ソフィア文庫 (現代語訳つき)
●古文なのに読みやすい、面白い! 去年は秋成没後200年でした。

坂井 隆 本学文学部 講師 (アメリカ演劇)
柴田元幸著『アメリカ文学のレッスン』 講談社現代新書
●名翻訳家でもある柴田氏が身近なテーマに沿ってアメリカ文学を考察した名著。

清水 啓子 本学文学部 准教授 (英語学・言語学)
鷺田清一著『ちくはぐな身体 (からだ)』 筑摩書房 (ちくま文庫)
●なぜ人は服を着るのか。ファッションやピアス、タトゥーといった人の身体 (からだ) への装飾から、身体と自己との関係、自己と他者の関係などを軽やかにかつ真剣に論じています。

鈴木 元 本学文学部 教授 (日本中世文学)
石川淳著『至福千年』 岩波書店 (文庫版あり)
●かつてはお気に入りの小説の、ここぞという一節はたやすく諷んじえた。本書冒頭はその最たるもの。名文である。

竹村 和子 お茶の水女子大学 教授 (英語圏文学・批評理論)
小森陽一(監修)『研究する意味』 東京図書
●大学生・大学院生向けですが、ませた高校生にも。

難波 美和子 本学文学部 准教授 (比較文学)
小松左京著『復活の日』 角川春樹事務所 (ハルキ文庫)
●人類の未来への希望の物語ですが、地球にとっての人類の無意味さを痛感します。

馬場 良二 本学文学部 教授 (日本語教育)
パール・バック著『大地』 集英社、川出書房、岩波書店
●この小説の世界が私にとっての中国です。ノーベル賞をとった大作です。

半藤 英明 本学文学部 教授 (日本語学)
市井三郎『「明治維新」の哲学』 講談社現代新書
●NHK大河ドラマ「龍馬伝」が人気ですが、本書は幕藩体制の矛盾と外圧とが如何に変革の思想へとつながっていったかを説き明かしてくれる良書です。

星乃 治彦 福岡大学人文学部 教授 (歴史学・ドイツ現代史)
ジュディス・ハトラ著『ジェンダー・トラブル』 青土社
●難しい本です。でもセクシュアリティ研究では画期的な本です。

水尾 文子 本学文学部 准教授 (英国女性小説)
アラン・ベネット著『やんごとなき読者』 白水社
●80歳にして読書に目覚めた女王のお話。英国王室をテーマにした機知に富む深い小説。原作 *The Uncommon Reader* もお薦め。

村里 好俊 本学文学部 教授 (イギリス・ルネサンス文学)
戸矢理衣奈著『下着の誕生—ヴィクトリア朝の社会史』 講談社選書メチエ
●ピアノの「脚」をも隠蔽したモラル厳しいヴィクトリア女王時代のイギリスでは、女性の衣装の下は3キロを超える重装備であった。下着の機能と装飾の変遷に、現代女性の美意識の原点 = 「肌の解放」の意味を探る好著。

山田 俊 本学文学部 教授 (中国思想史)
落合淳思著『甲骨文字の読み方』 講談社現代新書
●甲骨文字など読めないと思っている方、この一冊で読める気にさせてくれます。

熊本県立大学文学部
『文彩 BUN-SAI』 第6号

* 発行 2010年3月15日
* 発行所 熊本県立大学文学部
熊本市月出3丁目1番100号
* 印刷所 (有)さかき印刷
熊本市長嶺東6-30-37
* 表紙原画デザイン 有働 牧子

第2回 祥明大学校・熊本県立大学学術フォーラム 「ことばと文学」

- 開催報告
- 萩原朔太郎と韓国 …………… 梁 東国 (祥明大学校)
- 韓国語における条件標識の拡大現象に関する文法化からの分析
…………… 具 顕禎 (祥明大学校)
- 日本語の主観性 …………… 清水 啓子 (熊本県立大学)
- 母娘関係の変容—現代女性小説に見る戦後の英国社会
…………… 水尾 文子 (熊本県立大学)

第6回 文学部フォーラム 「ことばと身体」

- フォーラム開催にあたって …………… 難波美和子 (熊本県立大学)
- 基調講演 —————
性的差異、そしてポスト性的差異
—「ことばと身体」をめぐる問い— …… 竹村 和子 (お茶の水女子大学)

- つくられる「おんな」の身体、「おとこ」の身体
—その歴史的形成過程— …………… 星乃 治彦 (福岡大学)
- 『老子』第一章の身体性—忘れ去られたもう一つの解釈—
…………… 山田 俊 (熊本県立大学)
- メイ・ウェストの身体を読む …………… 坂井 隆 (熊本県立大学)

* * * * *

- 羽田と父と祖母、そして、ブラジル
ひとり、ふたり、みたり、よったり …………… 馬場 良二
- 昔話の語りと身体
語りが世界をつむぐ …………… 難波美和子

* * * * *

- 故クロード・レヴィ=ストロース氏への手紙
再び見出された問い …………… 有働 牧子
- 『「鎖国」という言説』補遺 (一)
「鎖国祖法」という呼称 …………… 大島 明秀
- 江戸のコンポジション
徒然草の漢訳 …………… 川平 敏文
- 連歌制作の一手法
つくる …………… 鈴木 元
- 論理と創造のはざま
文学的解釈のすすめ …………… 半藤 英明
- シェイクスピアへの散歩道
ハムレットの第四独白「第一行目」の解釈を巡って …… 村里 好俊

第2回祥明大学校・熊本県立大学学術フォーラム 「ことばと文学」

- 開催報告 1
- 萩原朔太郎と韓国 梁 東国 (祥明大学校) 2
- 韓国語における条件標識の拡大現象に関する文法化からの分析
..... 具 顕禎 (祥明大学校) 9
- 日本語の主観性 清水 啓子 (熊本県立大学) 18
- 母娘関係の変容—現代女性小説に見る戦後の英国社会
..... 水尾 文子 (熊本県立大学) 25

第6回文学部フォーラム 「ことばと身体」

- フォーラム開催にあたって 難波美和子 (熊本県立大学) 33
- 基調講演—
性的差異、そしてポスト性的差異
—「ことばと身体」をめぐる問い— …竹村 和子 (お茶の水女子大学) 35

- つくられる「おんな」の身体、「おとこ」の身体
—その歴史的形成過程— 星乃 治彦 (福岡大学) 48
- 『老子』第一章の身体性—忘れ去られたもう一つの解釈—
..... 山田 俊 (熊本県立大学) 53
- メイ・ウェストの身体を読む 坂井 隆 (熊本県立大学) 57

* * * * *

- 羽田と父と祖母、そして、ブラジル
ひとり、ふたり、みたり、よったり 馬場 良二 62
- 昔話の語りと身体
語り世界をつむぐ 難波美和子 65

* * * * *

- 故クロード・レヴィ=ストロース氏への手紙
再び見出された問い 有働 牧子 78 (35)
- 『「鎖国」という言説』補遺 (一)
「鎖国祖法」という呼称 大島 明秀 84 (29)
- 江戸のコンポジション
徒然草の漢訳 川平 敏文 94 (19)
- 連歌制作の一手法
つくる 鈴木 元 103 (10)
- 論理と創造のはざま
文学的解釈のすすめ 半藤 英明 106 (7)
- シェイクスピアへの散歩道
ハムレットの第四独白「第一行目」の解釈を巡って 村里 好俊 112 (1)